



1995年に、ご家族で岩手県・安比高原スキー場へ訪れた際の記念写真。当時満さんは41歳、満さんの右後ろに立っているのが、当時9歳の哲朗さん。

諦めていた家族旅行を、もう一度

偉大な父に反発し 18歳で海外へ

故春山満さんは24歳で進行性筋ジストロフィーを発症、30代後半には首から下の機能を全廃した。しかし「失くしたものを数えるな、残っている機能を120%活性化すれば絶対に生き残れる！」と語り、自らを実験台に独自のヘルスケア用品やサービスを開発。米国ビジネスウィーク誌が「アジアの星25人」に選出するなど、世界的な活躍で知られた。哲朗さんは、そんな偉大な父に20代前半まで反発していたという。

「物心つく頃には、家中のほぼいつも取材のカメラが回っているような状態で、周囲から「春山満さんの息子」としか見えない。「俺は俺なんだ」という反発心が渦巻いていました。父の仕事についても、介護・福祉は「清く、暗く、貧しい」としか思えず、僕はそんな仕事は絶対にしない」と。高校卒業後、留学を口実に「海外に逃げ出した」と明かす。

カジノで遊んでいる 要介護高齢者に衝撃

ホテルマネージメントを学ぶため米国ネバダ州立大学ラスベガス校に入学するが、目標を見失い、毎日アルバイトとカジノに熱中。ある日のカジノの様子に衝撃を受ける。

介護特集

18

親の老後を考える

「車いすの社長」として介護・福祉の世界に新風を吹き込み、昨年2月、60歳で亡くなった春山満さん。春山さんが創業した(株)ハンディネットワークインターナショナル2代目社長に就任した長男の哲朗さんは、満さんの1周忌に新事業「グッドタイムトラベル」を立ち上げた。完全オリジナルの企画旅行で、要介護の人でも安心して家族旅行が楽しめるという。「障がいがあっても、どうか旅を諦めないで…」その熱い思いをうかがった。

取材文／渡部せつ子

Interview



株式会社ハンディネットワーク
インターナショナル(HNI)
代表取締役
春山 哲朗 さん

はるやま・てつろ／高校卒業後ハワイの大学に留学。その後、ネバダ州立大学ラスベガス校ホテルマネジメント学科へ編入。2007年、HNI入社。2012年同社取締役役に就任。2014年代表取締役役に就任。今年2月23日社長直厲の新事業「グッドタイムトラベル」を開設。

■取材協力
株式会社ハンディネットワーク
インターナショナル(HNI)
箕面市萱野4-3-10 3F
TEL.072-725-3388
FAX.072-725-3088
事業内容／ヘルスケア機器の
開発・製造・卸、コンサルティング、
オリジナル旅行手配
<http://www.hni.co.jp/>

「ラスベガスの高齢者住宅の入居者が送迎バスでやって来て、ゲームで遊んでいるんです。何と彼らは腕に点滴をしていたり、車いすだったり、みんな要介護高齢者：ハッとしました。父が目指しているのは、こういう狼狽さの中の明るい老後に違いない」と。この常識を変えるビジネスに興味を持ち、その後すぐに帰国を決意。「『親父のビジネスを学ばせてほしい』と生まれて初めて親父に頭を下げました(笑)」。

「家族の思い出」を創る スタッフ付きの旅で

「グッドタイムトラベル」の概要は、まず、依頼者の要望を聞き、本人の体調を医師やケアマネージャーにも確認するなどしながら旅行を企画。ホテルや交通機関の手配は同社がおこない、旅行には介護職員初任者研修(旧ヘルパー二級)の資格を持ち、同社が教育した

スタッフが同行。このスタッフをトラベルケアアテンダントと呼び、旅行中のケアすべてを担当するなど他にはないサービスを提供。「『家族は介護のことは忘れて、かけがえない思い出をつくってほしい。母の日や父の日、喜寿の祝いなどの贈りものにも人気があります』。発表から1ヵ月、いま問い合わせが殺到しているそうだ。

さて、今後の同社の舵取りについては「介護報酬に頼るビジネスではなく、本当に望まれているものが提供されていなかったものを提供し、お客様の満足度を追求していきます」。一瞬、満さんの面影が哲朗さんに重なって見えた。